

<作成中>【SNS動画の事前チェックで大活躍】トラスクエタムービーが大幅アップデートされました

表現チェックの新領域に挑む『TRUSQUETTA MOVIE』がアップデート

株式会社トラスクエタ（本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：高橋 聡）は、広告表現チェックツール「TRUSQUETTA」シリーズにおける**動画チェックに特化した『TRUSQUETTA MOVIE（トラスクエタムービー）』**のリニューアルを近日予定しており、本記事ではその概要をお知らせいたします。

本サービスは、薬機法・景品表示法・健康増進法などの広告規制に準拠した動画表現チェックを、誰でも簡単・スピーディーに実行できるAIツールです。

なぜ今、動画広告に特化したチェックツールが必要なのか？



動画広告チェック、間に合わない…！

デジタル広告の主流が動画へと移行しつつある今、動画広告の審査・表現チェックにかかる工数は急激に増加しています。

特に薬機法や景表法、業界ごとの広告ガイドラインなど、**高度な法令知識と注意力が求められる**この分野において、確認作業は大きな負担になっていました。

こうした背景を受けて開発されたのが、動画チェックに特化したAIツール『TRUSQUETTA MOVIE』です。

『TRUSQUETTA MOVIE』とは？

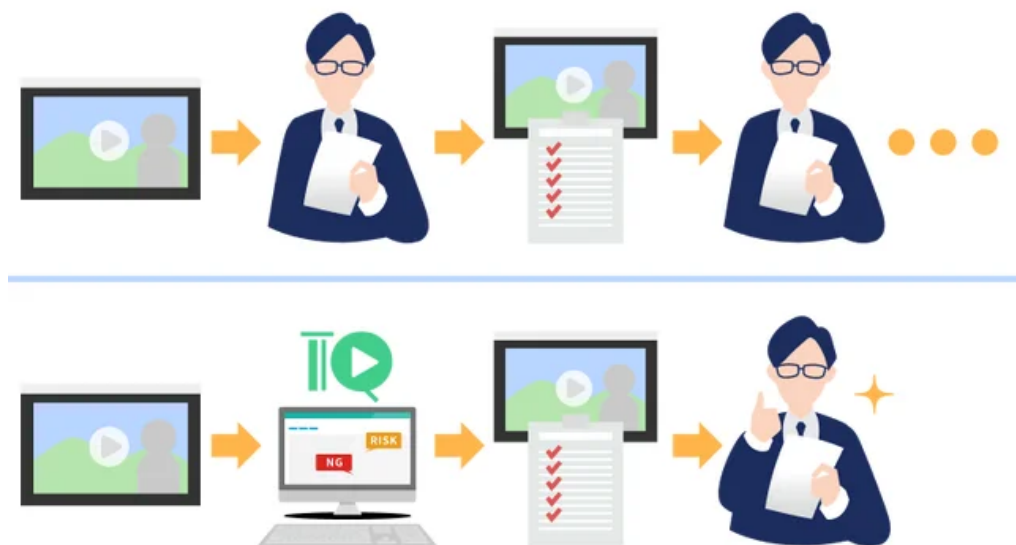
トラスクエタムービー TRUSQUETTA MOVIE

TRUSQUETTA MOVIE（トラスクエタムービー）

『TRUSQUETTA MOVIE』は、MP4形式の動画広告をアップロードするだけで、自動的にリスク表現を検出・指摘するチェックツールです。

すでに画像やテキストの確認を担ってきた『TRUSQUETTA AD』のノウハウと、独自の特許技術を融合し、映像領域にも対応範囲を広げました。

特長と強み



- MP4形式に対応

動画ファイルをアップロードするだけでOK。特別な変換作業や再編集は必要ありません。

- リスク表現を瞬時に検出

AIが薬機法・景表法・業界独自ルールに基づいてNG表現を可視化。注意喚起や代替案も表示。

- 世界で認められた特許技術を活用

日本国内に加え、2024年には台湾での特許も取得済み（特許第6621095号）。

- 柔軟なカスタマイズにも対応

企業ごとのチェックルールに合わせた開発・拡張も可能。自社基準に合わせた運用が実現できます。

今回のアップデートで、さらに便利に



アップデートでリスク箇所がひと目でわかる！

今回のリニューアルにより、以下のような新機能が加わりました。

- **動画の閲覧機能**

アップロード後にそのまま再生して確認可能。

- **リスクの時系列表示**

動画のどのタイミングにリスクがあるかをタイムテーブルで一覧化。

- **一括チェック機能**

複数動画を一括アップロードし、同時に解析・比較。

- **長尺対応（10～15分）**

従来よりも長い動画も分析可能に。

- **チェック結果の外部共有**

社外パートナーや代理店ともスムーズに共有・連携。

動画時代の新しいチェック体制を、ここから

『TRUSQUETTA MOVIE』は、単なるチェックツールではありません。

専門知識がなくても、誰でも安全な動画表現を確認・修正できるという、新しい体制そのものを提供する仕組みです。

確認作業の効率化・属人化の解消・ミスの低減など、広告審査にまつわるあらゆる課題に対して、これからも技術と現場の声を融合させながら挑戦していきます。

お問い合わせ

本リリースや、サービスに関しては以下よりお問い合わせください。

<https://trusquetta.net/contact/>

株式会社トラスクエタ

E-MAIL：marketing@trusquetta.co.jp

TEL：03-5937-1709

<会社概要>

- ・会社名：株式会社トラスクエタ
- ・代表者：代表取締役CEO 高橋聡
- ・設立：2010年10月
- ・所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目15-7AMBRE 7F

<事業内容>

AIチェックツール「TRUSQUETTA」：<https://trusquetta.net/>

プロトタイプ開発サービス「爆速プロトン」：<https://bakupro.jp/>

株式会社トラスクエタのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/54524